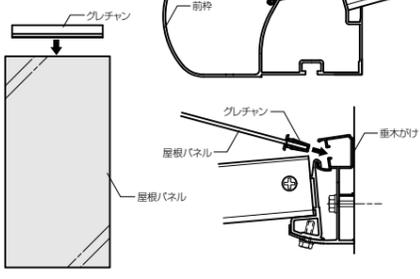


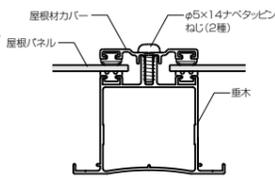
■屋根パネルの取付け

①屋根パネルにグレチャンを取り付け、図のように垂木がけとパネルカバーに取り付けます。



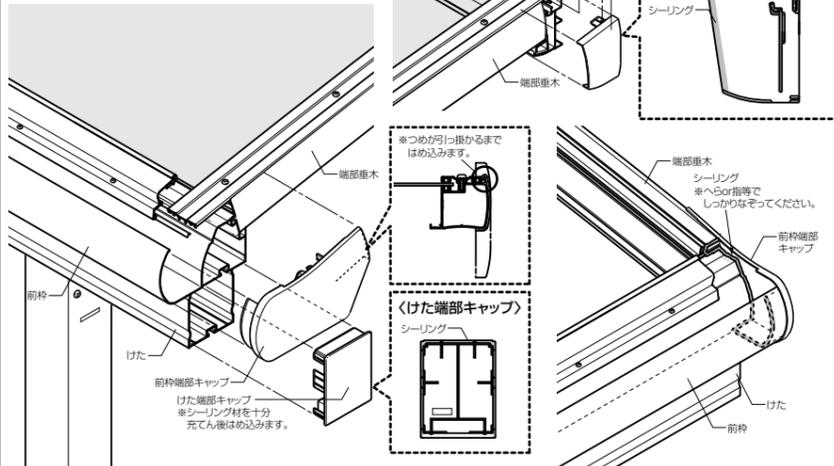
■屋根カバーの取付け

①垂木との位置を確認してねじ止めします。

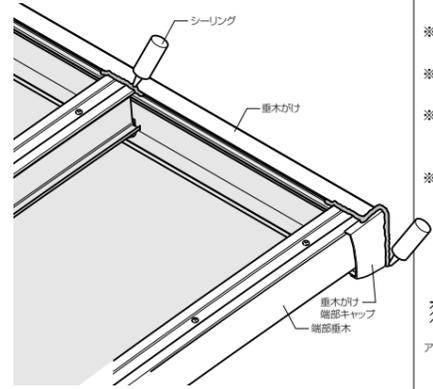


■キャップの取付けとシーリング処理

前枠端部キャップを取り付け十分シーリングした後、ヘラや指等で押さえてください。けた端部キャップ及び垂木がけ端部キャップに十分シーリングした後、取り付けます。



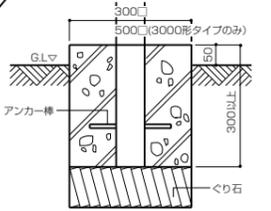
②下図の箇所をきれいにシーリングしてください。



※シリコン系シーリング材を使用した場合、アクリル板のヒビ割れなどが考えられますので、当社指定のシーリング材又はプライマーを使用してください。(東芝#380・#381・東SE555) なお、東芝#381・東SE555はプライマー不要です。

■柱基礎

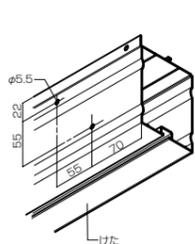
①柱埋め込み穴をコンクリート(又はモルタル)で埋めてください。
 ※地下埋設物(給水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。
 ※コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。
 ※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
 ※必ず水抜き穴をあけてください。



■連結タイプの場合

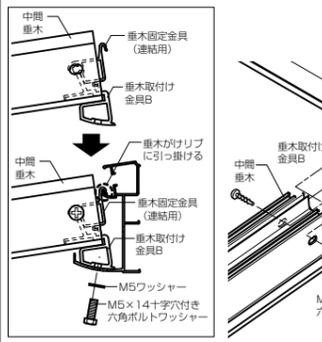
■前枠・垂木がけ・けたの加工

①前枠：垂木がけの連結側を20mm切り詰めます。
 ②前枠の連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。
 ③けたの連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。



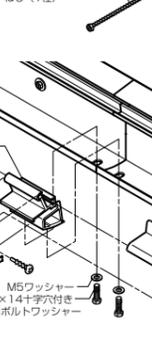
■垂木がけの取付け

①垂木がけの全体取付け穴(φ6.5)を、柱や間柱など躯体の構造位置に合わせてあけ直した後、取り付けてください。
 ②連結部は必ずシーリングで処理してください。
 ※1連結部に取り付けて、中間垂木は、垂木固定金具B(連結用)に垂木固定金具(連結用)を差し込んだ後、ねじ止めします。
 ※2垂木がけに固定の際は、垂木固定金具(連結用)を垂木がけリブに引っ掛け取り付けます。



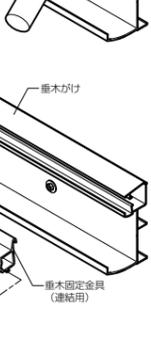
■前枠・けたの取付け

①前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
 ②前枠ジョイントカバーをねじ止めします。
 ※連結部には垂木と柱が取り付けます。
 ※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、やむを得ない場合は、移動しても差し支えありません。
 ③けたの下図の位置に穴あけ加工後、ねじ止めします。



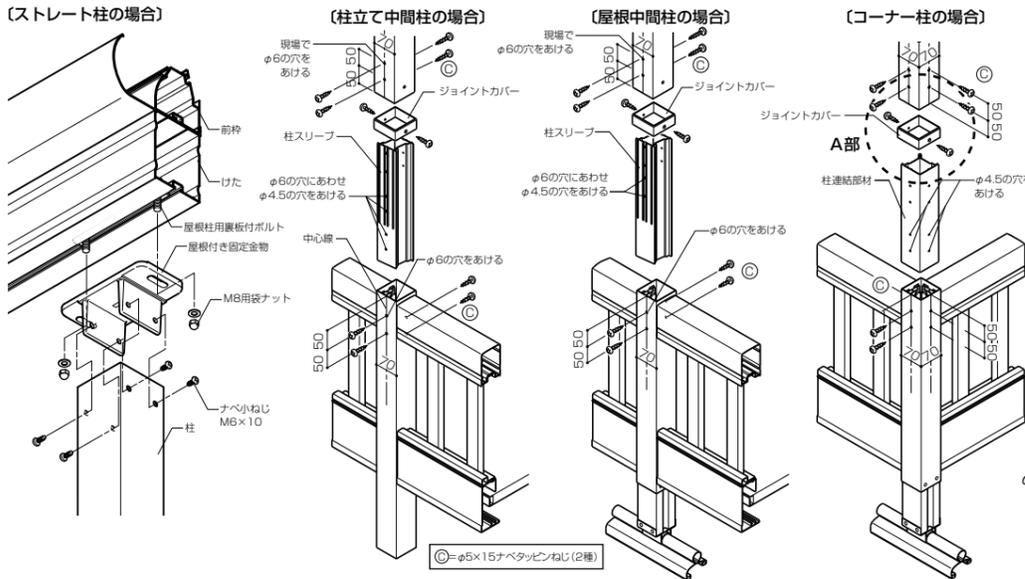
■シーリング箇所

※連結部には必ずシーリングで処理してください。



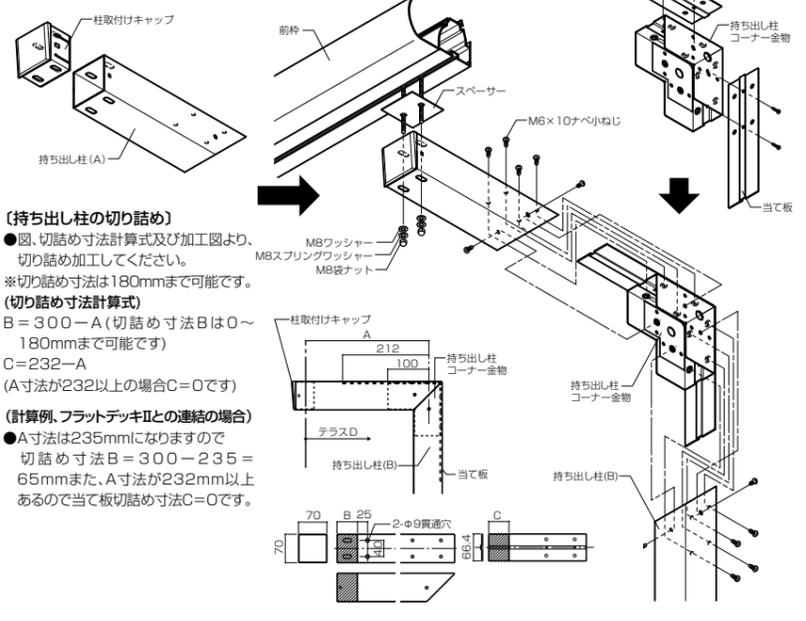
■バルコニー連結の場合

①柱の切詰め加工
 ●現場実測で寸法を出し、柱を切詰めてください。
 ②前枠への取付け
 ●屋根柱固定金物を使用し、図の要領で取り付けてください。
 ③バルコニーとの連結図の要領に従い、柱を連結してください。
 (ストレート柱の場合)



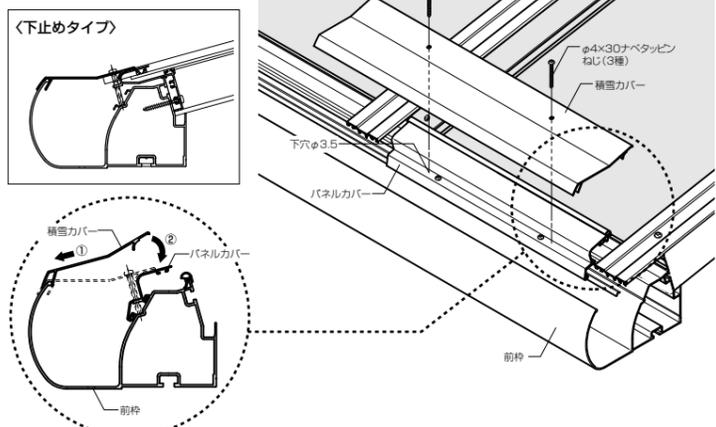
■持ち出し柱の場合

※初めに必ず柱取付けキャップを取り付けてください。

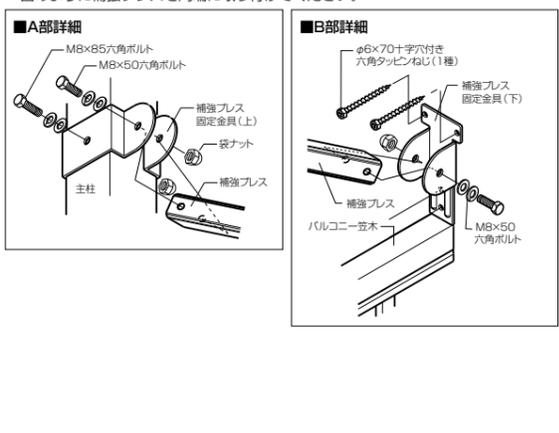


■積雪カバーの取付け

●パネルカバーに下穴φ3.5を開き、積雪カバーを取り付けます。



●屋根置き式バルコニーに屋根を取り付ける場合、風による吹き上げのある現場では図のように補強プレスを両端に取り付けてください。



レーネテラスⅡ

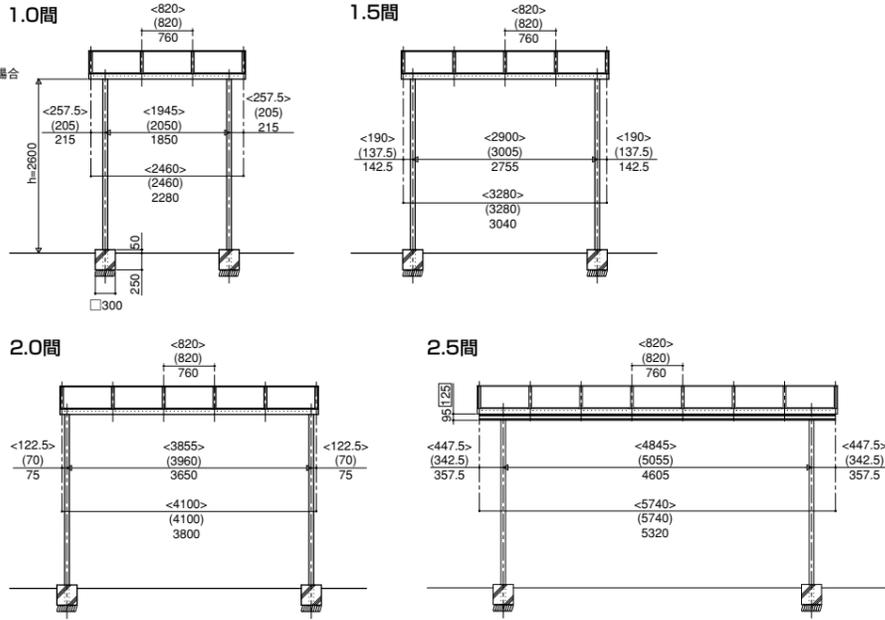
姿図・参考納まり図

■姿図

600形

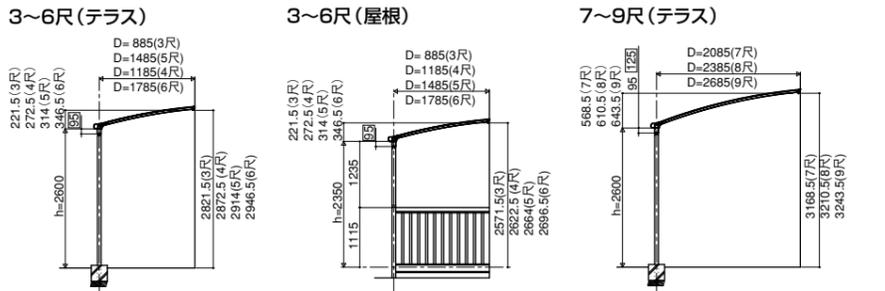
●正面図

※()内は関西間
※< >内は九州・四国間
※□は出幅7~9尺の場合



●側面図

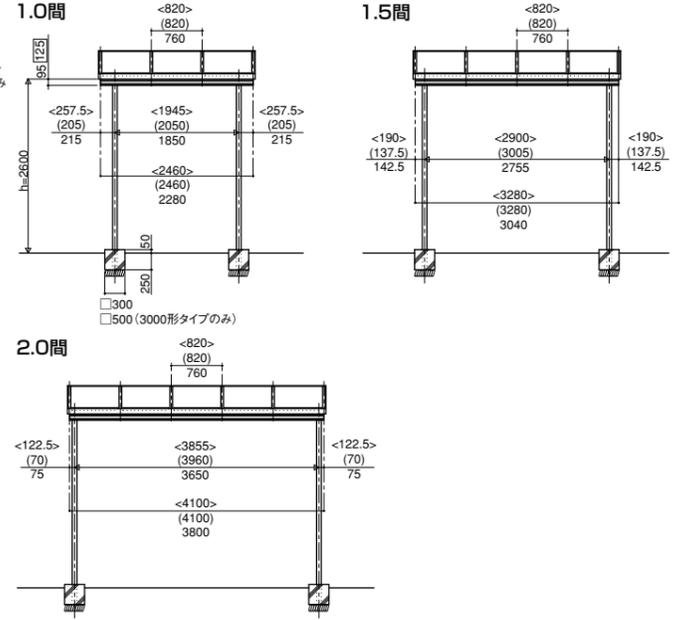
※□は開口2.5間
通しの場合



1500・3000形

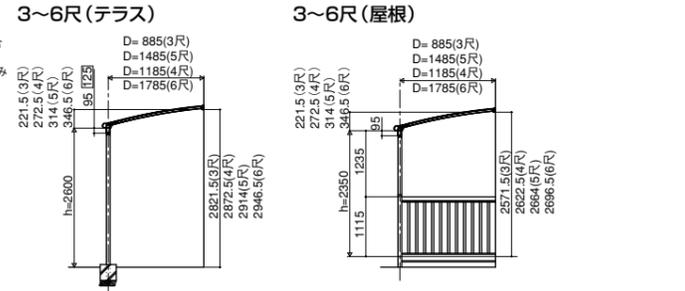
●正面図

※()内は関西間
※< >内は九州・四国間
※□は3000形の場合
※3000形は、関東間のみ



●側面図

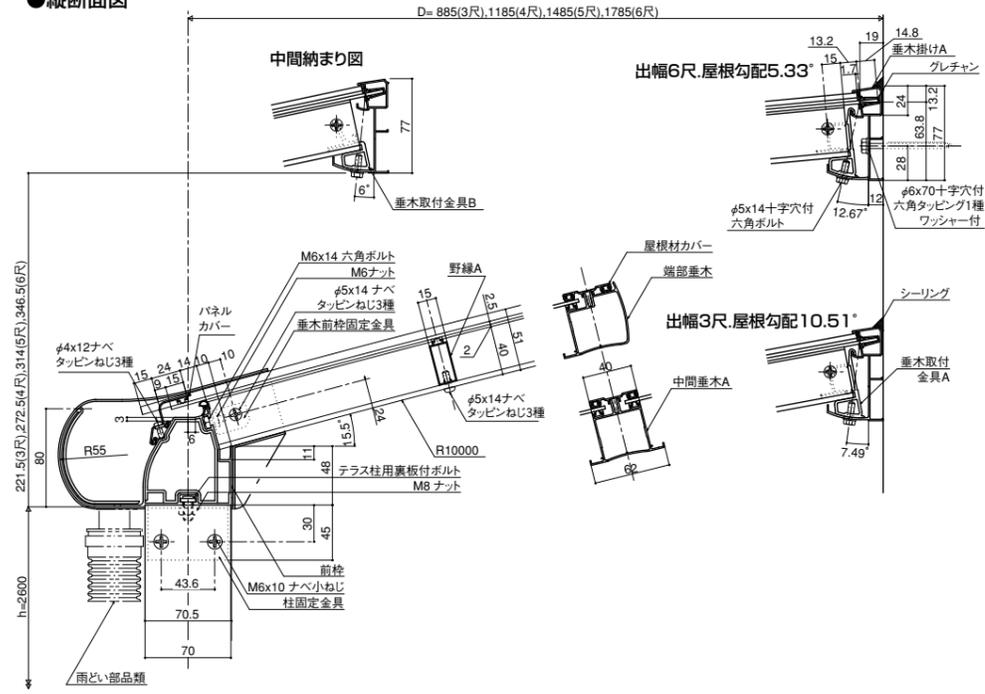
※□は3000形の場合
※屋根は1500形のみ
※3000形は、関東間のみ



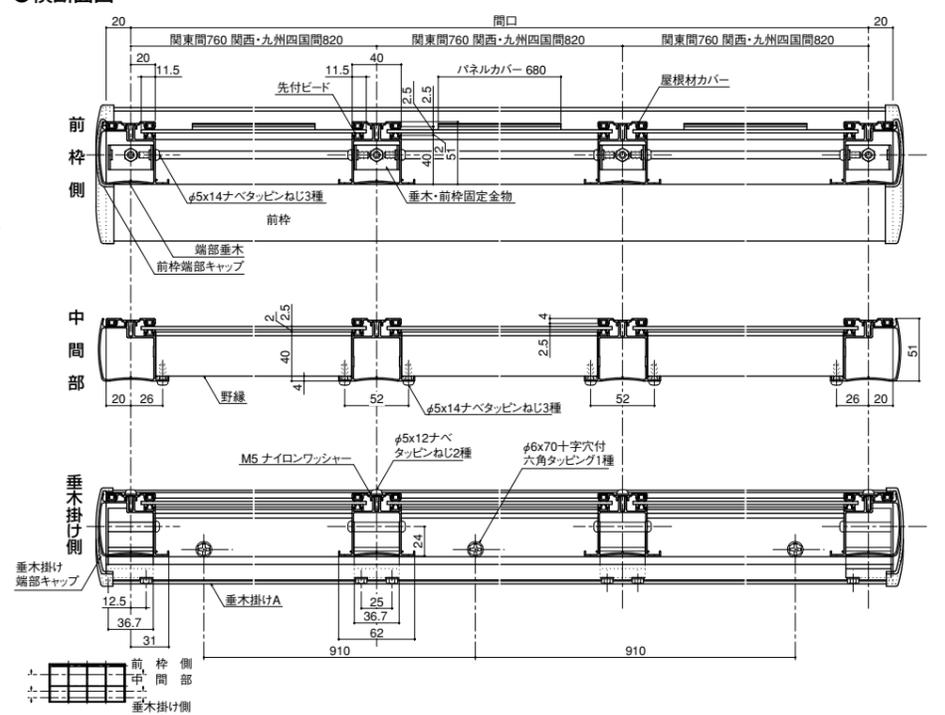
■参考納まり図

600形

●縦断面図



●横断面図



1500・3000形

●縦断面図

